

平成 27 年度第 4 回富里市国民健康保険運営協議会会議録(要点筆記)

招集年月日	平成 28 年 2 月 4 日		
招集の場所	富里中央公民館 1 階 サークル室		
開会・閉会 の 時 間	開会 平成 28 年 2 月 4 日 14 時 閉会 平成 28 年 2 月 4 日 14 時 40 分		
◎会長 ○会長職務代理	氏 名	出欠等の別	届出の有無
	◎池田 明	○	
	○大塚 良一	○	
	林田 美恵子	○	
	綿貫 文雄	○	
	大竹 俊子	○	
	田中 章三	○	
	我妻 道生	○	
	内田 啓二	欠	有
	麻野 邦子	○	
会議録署名委員	池田 明		
説明のため出席 した者の職氏名	国保年金課長 栗原 智彦		
	国保年金課副主幹 岩舘 進		
	国保年金課主査 秋葉 忍		
職務のため出席 した者の職氏名	国保年金課主事 坂野 達郎		
会議に附した事件	別紙のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		

平成２７年度第４回富里市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 平成２８年２月４日（木）

午後２時～

場 所 富里中央公民館１階 サークル室

１ 開 会

２ 市長あいさつ

３ 議題

（１）平成２７年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）（案）
について

（２）平成２８年度富里市国民健康保険特別会計当初予算（案）について
※採決 全員賛成

４ その他

（１）次回会議予定について

事務局（案） 平成２８年５月１２日（木）午後２：００

※開催する場合は事前に通知します。

５ 閉 会

○委員の意見

⇒市の説明

議題（1）平成 27 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）（案）について

【歳入】

⇒今回の補正につきましては、資料 1 の 6・7 ページの表に記載のとおり、歳入・歳出それぞれ 2,155 万 3 千円を追加いたしまして、予算の総額を 75 億 2,638 万 3 千円とするものでございます。

① 一般被保険者国民健康保険税

⇒2,156 万 5 千円の減額でございます。こちらにつきましては、所得が当初の見込みを下回ったことと、被保険者の減少が主な要因でございます。（資料 1-1 ページ）

② 退職被保険者等国民健康保険税

⇒5,222 万 1 千円の減額でございます。こちらにつきましては、退職被保険者の減少によるものでございます。（資料 1-2 ページ）

③ 利子及び配当金

⇒国民健康保険特別会計準備基金に関わります利子収入 254 千円でございます。（資料 1-2 ページ）

④ 一般会計繰入金

⇒総額で 9,508 万 5 千円となります。内訳といたしましては、保健基盤安定繰入金保険税軽減分 2,713 万 3 千円となり、こちらにつきましては、低所得者に対する保険税軽減措置の拡大による増額でございます。

次に、保険基盤安定繰入金保険者支援分 7,369 万 8 千円は、支援金算定基準の変更による増額でございます。事務費等繰入金 58 万 4 千円の減額は、納税通知書などの郵送経費が見込みを下回ったことによるものであります。出産育児諸費繰入金 420 万円の減額は、出産件数が当初の見込みを 15 件下回ることが想定されるものです。国保財政安定化支援事業繰入金 716 万 4 千円の減額は、基準単価・係数の見直しによるものでございます。その他一般会計繰入金 620 万 2 千円の増額は、今回の補正予算における歳入不足を補うための法定外の繰入れでございます。（資料 1-3 ページ）

【歳出】

① 賦課徴事業

⇒賦課徴収事業の通信運搬費 58 万 4 千円の減額は、郵送件数の見込み減によるものでございます。（資料 1-4 ページ）

② 一般被保険者療養給付費事業

⇒一般被保険者療養給付事業の 1 億 3,877 万円の増額は、療養給付費の本年 2 月以降の支給額が前年度比 6.3%増と見込まれることによるものでございます。（資料 1-4 ページ）

③ 退職被保険者等療養給付費事業

⇒退職被保険者等療養給付事業 9,000 万円の減額は、本年度の実績を踏まえて、2 月支給分以降前年度比 25%の減が見込まれることによるものでございます。(資料 1-4 ページ)

④ 退職被保険者等療養費事業

⇒退職被保険者等療養事業 70 万円の減額につきましては、被保険者の減少を受けた支給実績を勘案したものでございます。(資料 1-4 ページ)

⑤ 退職被保険者等高額療養費負担事業

⇒退職被保険者等高額療養費負担事業 1,600 万円の減額は、被保険者の減少によるものでございます。(資料 1-5 ページ)

⑥ 出産育児一時金負担事業

⇒出産育児一時金負担事業 630 万円の減額は、出産件数の見込み減により 15 件分を減額するものでございます。(資料 1-5 ページ)

⑦ 特定健康診査等事業

⇒特定健康診査等事業 388 万 8 千円の減額は、特定健診受診者の見込み減により通信運搬費と委託料を減額するものでございます。(資料 1-5 ページ)

○歳入減について、退職被保険者数が減少しているとの説明がありましたが、当初の見込みと最終的な補正との見込み数をそれぞれお聞かせ願いたい。

⇒平成 26 年度末で申し上げますと、退職者が 770 人おりました。平成 27 年度末には、502 人と 250 人弱の減少が見込まれます。最終的には退職者医療制度の廃止に伴いまして、0 人に向けて順次終息をしていきますので、年々減少していくことになります。

○採決に移ります。

議題の (1) 平成 27 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号) (案) について、賛成の方は挙手をお願いします。

挙手全員

挙手全員です、よって承認されました。

議題 (2) 平成 28 年度富里市国民健康保険特別会計当初予算 (案) について

⇒歳入歳出それぞれ 73 億 2,522 万 3 千円とするものでございます。

【歳入】

① 国民健康保険税について、前年度から△4.0%, 6,473 万 7 千円の減額で計上しております。こちらにつきましては、現年度の収納見込を 84.31%, 滞納繰越分を 16.73%で算定しております。

② 国庫支出金について、前年度から△1.7%, 2,673 万円の減額で計上しております。こち

らにつきましては、保険給付費の増加傾向が続いておりますが、被保険者の減少が主な要因でございます。

- ③ 療養給付費等交付金については、前年度から△49.5%、1億6,091万7千円の減額で計上しております。こちらにつきましては、退職者医療制度が平成26年度で終了したことに伴い、退職被保険者が大幅に減少していることによるものです。
- ④ 前期高齢者交付金について、前年度から3.4%、4,447万3千円の増額で計上しております。こちらにつきましては、前期高齢対象の65歳から74歳までの被保険者が増加したことによるものです。
- ⑤ 県支出金、共同事業交付金、財産収入は、昨年と同額でございます。
- ⑥ 繰入金については、前年度から52.7%、2億121万6千円の増額で計上しております。内訳として、保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)は、前年度から18.8%、3,048万2千円の増額で、低所得者に対する国保税の軽減措置の拡大によるものでございます。保険基盤安定繰入金(保険支援分)は、前年度から228.3%、7,558万8千円の増額で、支援金算定基準の変更によるものです。事務費等繰入金は、前年度から△1.9%、76万4千円の減額でございます。出産育児諸費は、前年度から△8.3%、280万円の減額でございますが、こちらは年間見込数を120件から110件としたことが要因です。国保財政安定化支援事業繰入金は、前年度から△56.8%、716万4千円の減額で、基準単価・係数の見直しによるものでございます。一般会計からの法定外繰入金は、平成27年度同額でございまして、基金から1億587万4千円の繰入をおこないます。
- ⑦ 繰越金は、9,571万2千円の増額で計上しております。
- ⑧ 諸収入は、500万円の増額で計上しております。こちらにつきましては、実績に基づいて増額したものです。

【歳出】

- ① 総務費は、国民健康保険の制度を運営するための経費で、前年度から1.8%、76万4千円の減額で計上しております。
- ② 保険給付費は、前年度から3%、1億2,028万8千円の増額で計上しております。こちらにつきましては、全体の被保険者数が減少しておりますが、退職者医療制度の終了に伴い一般区分への移行、前期高齢者の全体に占める割合の増加、高額医療の所得区分の変更などの複数の要因があり、給付費の増加傾向は続いております。
- ③ 後期高齢者支援金は、前年度から△5.9%、5,865万6千円の減額、前期高齢者納付金は、前年度から△36.9%、37万7千円の減額、介護納付金は、前年度から△5.5%、2,487万4千円の減額でございますが、これらにつきましては、対象被保険者の減少が要因でございます。
- ④ 共同事業拠出金は、前年度から3.6%、5,889万円の増額でございますが、こちらにつきましては、対象医療費が前年を上回っていることが要因でございます。

- ⑤ 保健事業費は、前年度から△1.3%, 48 万 9 千円の減額でございます、こちらにつきましては、業務内容の見直しと被保険者の減少が要因でございます。

なお、基金残高は、平成 27 年度 3 月末で 3 億 3,819 万 9,874 円となります。前年比較、145.0%, 2 億 15 万 2,653 円の増額でございます。

○平成 28 年度当初予算の被保険者の見込み数をお聞かせ願いたい。

⇒平均数での算定をしておりますので、平均数を申し上げます。一般被保険者で 16,378 名、退職被保険者で 429 名、合計で 16,807 名でございます。

○社会情勢を見ると経済状況も平成 27 年度後半は減速ぎみではありますがよくなっているように見受けられますが、その中で徴収率について反映されてきているかどうかお聞かせ願いたい

⇒収納率で見ますと、ここ数年微増はしております。しかしながら、今年度の当初で賦課をした被保険者の所得は、平成 26 年度当初で賦課をした所得よりも平均で 122,000 円の減となっております。したがって被保険者数が変わらないとしても調定額自体は減ってきている状態であり、被保険者も減少しておりますので所得が減ってきているところを収納率の向上で最小限にしている状況でございます。

○採決に移ります。

議題の（1）平成 28 年度富里市国民健康保険特別会計当初予算（案）について、賛成の方は挙手をお願いします。

挙手全員

挙手全員です、よって承認されました。

次回会議日程

平成 28 年 5 月 12 日（木）予定